

# 川前

地区



# クラフトビール



三戸 大輔さん

2020年6月から2023年3月にかけて  
川前地区の協力隊として活動

## 川前の恵みをクラフトビールに込めて

協力隊任期中は、川前町の耕作放棄地を活用して「二条大麦」と「ホップ」を地域の方々と協力しながら栽培・収穫し、川前産クラフトビール「いわき乾杯！KAWAMALE（カワマエール）」の試作品2種類を完成させました。

2023年3月に卒業した現在は、これまでの活動で培った地域との深い絆、そして豊かな自然を生かし、念願だった「サンデーブルワリー」を川前町下桶売地区に開業しました。また、このブルワリーには、ゲストハウスも併設する予定だそうです。

三戸さんが愛する川前の「恵み」と「人」。そのまっすぐな思いを自身の醸造技術と感性によって磨き上げ、完成される唯一無二のクラフトビール。今年は、2月に第3弾目が完成し、3月に川前町や市内の飲食店で開催される完成お披露目会にてその味を楽しむことができます。夢を仕事にできる幸せ、その夢が地域と人、そして未来をつないでいきます。「ビールと一緒に川前の魅力を思い切り楽しんでもらいたい」そう語る三戸さんの夢と挑戦はさらに広がっています。

## 地域おこし協力隊は夢との懸け橋

2020年6月に川前地区の地域おこし協力隊として、広島県から本市へUターンしてきた三戸大輔さん。世界を旅する中でクラフトビールの味や作る楽しさに魅了され「いつか自身のブルワリー（醸造所）を開業させたい。そして、世界に一つのクラフトビールを生み出し、多くの人に魅力を広めたい」と夢が芽生えた三戸さん。その夢を実現させるため、ドイツでクラフトビール作りの修業を積んできました。

日本に戻り、ブルワリー造りの修業をしていた時、地域おこし協力隊のOBと出会い、その取り組みに感化され、自身もクラフトビール作りで地元を盛り上げるための活動に貢献できないかと考え、川前地区の地域おこし協力隊に応募しました。

川前地区は約50年ほど前まで、ビールメーカー向けの原料となるホップや大麦を育てていた歴史があり、三戸さんが思い描くクラフトビール作りには最適な土地でした。

地域おこし協力隊として、自身の夢、そして地域の活性化を実現するための挑戦が始まりました。



ブルワリーの様子。現在は、タンクなど各設備の設置作業に取りかかっています。



地域の皆さんとビールの原料となる「ホップ」を収穫している様子。



「KAWAMALE（カワマエール）」試作品の第1弾（上写真）と第2弾（右写真）



Information

SANDi BREWERY

住所：川前町下桶売字敷ノ上130

SANDBREWERY